

目次

	ページ
序文	3
1. 適用範囲	3
2. 引用規格	3
3. 一般事項	4
4. 分析項目	4
5. 試料の採り方及び取扱い方	4
5.1 試料の採り方	4
5.2 試料のはかり方	4
5.3 試料の取扱い方	4
5.4 乾燥減量	4
6. 分析値のまとめ方	4
6.1 分析回数	4
6.2 空試験	4
6.3 分析結果の表示	4
6.4 分析値の検討・選択	4
7. カドミウム、クロム、すず、アンチモン、ベリリウム、ビスマス、ニッケル、セレン及び鉛の定量方法	5
7.1 定量方法の区分	5
7.2 加圧酸分解－ICP 発光分光分析法	5
7.3 マイクロ波加熱酸分解－ICP 発光分光分析法	7
8. 水銀の定量方法	9
8.1 定量方法の区分	9
8.2 加熱気化－金アマルガム冷原子吸光法	9
8.3 加圧酸分解－還元気化原子吸光法又は還元気化 ICP 発光分光分析法	11
8.4 マイクロ波加熱酸分解－還元気化原子吸光法又は還元気化 ICP 発光分光分析法	13
8.5 加圧酸分解－ICP 発光分光分析法	15
8.6 マイクロ波加熱酸分解－ICP 発光分光分析法	17
9. ひ素の定量方法	18
9.1 定量方法の区分	18
9.2 加圧酸分解－還元気化 ICP 発光分光分析法	18
9.3 マイクロ波加熱酸分解－還元気化 ICP 発光分光分析法	20
9.4 加圧酸分解－ICP 発光分光分析法	22
9.5 マイクロ波加熱酸分解－ICP 発光分光分析法	23
9.6 加圧酸分解－ジエチルジチオカルバミド酸銀吸光光度法	24
9.7 マイクロ波加熱酸分解－ジエチルジチオカルバミド酸銀吸光光度法	26

10. 臭素の定量方法	27
10.1 定量方法の区分	27
10.2 要旨	27
10.3 試薬	27
10.4 装置及び器具	27
10.5 試料はかり取り量	28
10.6 操作	28
10.7 空試験	28
10.8 検量線の作成	28
10.9 回収率の測定	28
10.10 計算	29
10.11 定量下限	29
11. 塩素の定量方法	29
11.1 定量方法の区分	29
11.2 要旨	29
11.3 試薬	29
11.4 装置及び器具	29
11.5 試料はかり取り量	29
11.6 操作	29
11.7 空試験	30
11.8 検量線の作成	30
11.9 回収率の測定	30
11.10 計算	30
11.11 定量下限	30

日本セラミックス協会規格

JCRS 109-2006

ファインセラミックス用アルミナ微粉末中の 環境影響成分の化学分析方法

Methods for chemical analysis of environmental influence component in aluminium oxide powders for fine ceramics

序文 アルミナ微粉末をファインセラミックス用原料として使用する場合に、その環境影響成分含有量を知ることが必要となる。そのための化学分析方法を規定したものである。

1. 適用範囲 この規格は、ファインセラミックスの原料として用いられるアルミナ微粉末の環境影響成分の化学分析方法について規定する。

2. 引用規格 次に掲げる規格は、この規格に引用されることによって、この規格の規定の一部を構成する。これらの引用規格は、その最新版（追補を含む）を適用する。

JIS K 0050	化学分析方法通則
JIS K 0102	工業排水試験方法
JIS K 0116	発光分光分析方法通則
JIS K 0121	原子吸光分析方法通則
JIS K 0127	イオンクロマトグラフ分析通則
JIS K 0557	用水・排水の試験に用いる水
JIS K 0970	プッシュボタン式液体用微量体積計
JIS K 8001	試薬試験方法通則
JIS K 8007	高純度試薬試験方法通則
JIS K 8012	亜鉛（試薬）
JIS K 8127	テトラクロロ金（Ⅱ）酸四水和物（試薬）
JIS K 8139	塩化水銀（Ⅱ）（試薬）
JIS K 8180	塩酸（試薬）
JIS K 8228	過塩素酸マグネシウム（試薬）
JIS K 8322	クロロホルム（試薬）
JIS K 8541	硝酸（試薬）
JIS K 8832	ブルシン n 水和物（試薬）
JIS K 8951	硫酸（試薬）
JIS K 9005	りん酸（試薬）
JIS K 9512	ジエチルジチオカルバミド酸銀（試薬）
JIS R 3503	化学分析用ガラス器具
JIS Z 8401	数値の丸め方
JIS Z 8802	pH 測定方法